

日本混相流学会
2007 年度第 3 回理事会・議事録

日時：平成 19 年 12 月 8 日(土) 13:00-17:00

場所：近畿大学東京事務所

出席者(理事)：井口学(会長)、矢部彰(筆頭副会長)、逢坂昭治(企画担当副会長)、高橋弘(情報部会長)、
功刀資彰(企画部会長)、石井俊夫(国際部会長)、大参達也(総務部会長)、渡部正夫(九州地区担当理事)、
大川富雄(関西地区担当理事)、齋藤隆之(学生会、東海地区担当理事)

出席者(オブザーバー)：竹村文男(総務委員)、近藤健(事務局)

議題と配布資料：

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1. 前回議事録の確認 | [資料 2007-3-01] |
| 2. 2008 年評議員候補者について | [資料 2007-3-02] |
| 3. その他審議事項 | [資料 2007-3-03] |
| 4. 情報部会報告 | [資料 2007-3-04] |
| 5. 企画部会報告(リエゾン専門委員会) | [資料 2007-3-05] |
| 6. 企画部会報告(学生会) | [資料 2007-3-06] |
| 7. 国際部会報告 | [資料 2007-3-07] |

議事：

1. 前回議事録確認

大参総務部会長から、資料 2007-3-01 に基づき前回議事録の確認があった。訂正等ある場合には近日中に総務部会長まで連絡することとした。

2. 2008 年評議員候補者の承認

大参総務部会長から、資料 2007-2-02 および当日持込資料(関東地区推薦分)に基づき 2008 年度候補者(案)が示された。資料 2007-2-02 における関東地区推薦分を当日持込資料により訂正して原案とし、原案通りこれを承認した。

3. その他審議事項

3.1 シニア会員に関する内規とシニア会員申込書フォーマットについて

大参総務部会長から資料 2007-3-03 に基づき、「シニア会員に関する内規」と「日本混相流学会シニア会員申込書」のフォーマットが既に過去の理事会で承認されていたことが判明した旨報告された。現存する文書である「シニア会員に関する内規(案)」(資料 2007-3-03b)をもとに審議し、施行日を会則変更のあった総会の日とするものとし、会則変更の事実を調査して確認された時点で、これを「シニア会員に関する内規」とすることとした。また、「日本混相流学会シニア会員申込書」のフォーマットを現状に合わせて修正した。

(付記：「シニア会員に関する内規」と「日本混相流学会シニア会員申込書」は、会誌 Vol. 21 (No. 4) に

掲載された。)

3.2 年会講演会 2009 開催地と実行委員長

資料 2007-3-03 に基づいて年会開催に関する基本ルールと過去の開催地を確認した後、年会講演会 2009 開催地について審議した結果、九州地区開催の方向で検討することとし、渡部九州地区担当理事を中心に早急に九州地区メンバーで協議することが了承された。

3.3 行事への協賛に関するガイドライン

大参総務部会長から資料 2007-3-03 に基づいて、各種イベントへの協賛に関するガイドラインを定めるべきとの意見が理事からあったことが報告され、審議の結果、以下の方針が確認された。

(1) 日本混相流学会が協賛するイベントの条件について、総務部長が以下の 2 条件をもとに「協賛」するにふさわしいかどうか判断し決定する。ただし、条件を満足するかどうか判断が難しい場合は、理事会に諮り判断する。

① イベントの目的が明確になっており、公益性が十分にあるか。

② イベントの目的が日本混相流学会の目的に合致しているか。

(2) 日本混相流学会が共催する場合または金銭の支出を伴う場合は理事会で審議する。

4. 情報部会報告

4.1 編集委員会報告

高橋情報部会長から資料 2007-3-04 に基づき以下の報告があった。

(1) 論文投稿状況の報告

(2) 会誌発行に関する報告

21 巻 4 号～22 巻 1 号までの会誌編集状況が報告された。

(3) 会誌の編集方針／長期編集企画に関する報告

22 巻の特集記事タイトルの予定と編集委員会の開催スケジュールが報告された。

(4) J-Stage 関連

- CrossRef (経費負担なし) について編集委員会で議論した結果、申請することが適当であるとの結論に至ったことが報告された。
- 過去の論文の公開について編集委員会で議論した旨報告された。この件に関して、公開に必要な作業を 5 年計画で外注する場合、1 年当たりの負担金額がどの程度になるかを事務局が見積もりすることとなった。

(5) インターネット運営委員会関係

学会誌掲載論文の参考文献を英語表記にするためのフォーマットをホームページに掲載したこと、また、掲載済みの論文執筆テンプレートを修正したことが報告された。

5. 企画部会報告 (リエゾン専門委員会)

大成リエゾン専門委員長作成の資料 2007-3-05 に基づき、大参総務部会長から、第 2 回マイクロ・ナノバブル基礎セミナーの実施報告と、12 月 14 日開催予定の第 3 回マイクロ・ナノバブル技術シンポジウムの要綱の報告がなされた。また、年会 2008 の OS に OS-17 としてエントリーすることが報告された。

6. 企画部会報告 (学生会)

齋藤学生会担当理事から当日持ち込み資料 2007-3-06 に基づき、2008 年度学生会夏季セミナー (第 9 回)

の実施案が報告された。

※資料 2007-3-06 のミスプリントの訂正：予算額 3880,000 円→388,000 円。

7. 国際部会報告

石井国際部会長から当日持ち込み資料 2007-3-07 に基づき、国際交流委員会、ICeM 委員会、ICMF 委員会、日欧二相流専門家会議、および混相流計測技術国際シンポジウム委員会の活動状況が報告された。

以上

作成：大参達也（総務部会長）